

# クミカレフュジア福島町 クミカレフュジア菊川

クミアイ化学工業株式会社

## 活動の場所

北海道 福島町（山林） 静岡県  
菊川市（ピオトープ）



## 活動目的

- ・クミアイ化学は、自然の恵み（自然環境）と生物多様性の保全に配慮し、自然共生社会の実現に貢献します。
- ・クミカレフュジア（待避地）と称した自然保護施設を設け、地域の生物多様性、豊かな景観を維持する活動を展開します。

## 活動内容

### ☆クミカレフュジア福島町

・1974年から北海道福島町に640ヘクタールの山林を取得し、現地の森林組合と協働して森を守る活動を行い生物多様性の保全を実践しています。豊かな自然が守られる効果として、水源涵養機能（水質浄化・保水機能）が向上し、河川が流れ込む近隣の海への栄養が行き渡ることによって海の生き物にも良い影響をもたらしています。（グリーンカーボンだけでなくブルーカーボンにも貢献）

### ☆クミカレフュジア菊川（2025年完成予定）

・静岡県菊川市の当社生物科学研究所の敷地内に3,030㎡のピオトープを創設、市街地化する場所に里山の景観を再現し、せせらぎ・湿地帯・池・草原・雑木林などを配置し、地域に生息する希少な生き物（ゲンジボタル、ヘイケボタル、ニホンイシガメなど）の保護活動を行います。

・懐かしい里山で地域の子供たちと生物多様性および樹木による二酸化炭素固定について学ぶ活動もを行います。



ゲンジボタル幼虫



ピオトープ せせらぎ



ホタル飼育



ニホンイシガメ

## PRしたいポイント

- ・レフュジア菊川では、地域特有の植物や栽培形態を見ることができます。FAO世界農業遺産に認定されている茶草場農法、カンキツ類の日本固有種ニホンタチバナの樹園、ホンツゲの群落が再現され学ぶことができます。
- ・レフュジア福島町では、地域の皆様との活動を通じて生物多様性の保全だけでなく地域の活性化（地方創生）にも貢献しています。

## 活動効果、今後の展開 等

- 当該エリアに生息する希少種、絶滅危惧種のモニタリングを継続し、保全の方法を探索する。
- エリア内のみならず、隣接する自然環境の調査・保全を実施し、地域に対して生物多様性の情報を発信していく予定。

クミアイ化学工業株式会社 サステナビリティ推進部

<https://www.kumiai-chem.co.jp/sustainability/environment/biodiversity/>